

# むつみだより

平成31年3月号 No.235

母子生活支援施設 仙台むつみ荘



日中は暖かな日差しが窓から降り注ぎ、暖房を付けなくても暖かく過ごせるようになりました。まだまだ外では防寒具が手放せませんが、水の森も緑が少しずつ鮮やかさを増し、春の訪れを感じさせます。

3月は進級や卒業、入学などを間近に控え、何かと変化を感じさせる月ですね。むつみ荘でも、子ども会での“卒業・進級を祝う会”と、新年度から保育所に入所または小学校に入学する幼児さんに向けた“ひよこぐみ・修了式”を毎年年度末に行っています。4月に比べると、出来る事も増え、見違える程成長した子ども達の姿に、毎年感心させられます。



## 子ども会

2月25日に、子ども会で雛祭りに向けての活け花をしました！女の子のお祭り、という事で例年は活け花をするのは女の子だけでしたが、「やりたい！」という去年の要望を受けて今年は満を持して男の子も参加。思い思いに工夫を凝らし、それぞれ個性的な仕上がり。

毎年お世話になっている花屋さんにお花をお願いし、今年は桃の花・菜の花・赤いスイートピーに麦(?)と春らしいラインナップ。陶器やガラス、色や形も様々な花瓶の中からそれぞれ自分の好きなものを選んで、いざ活け花の開始！桃の花は枝を切るのに力があるので、そこだけ職員がお手伝い。それ以外は、花の茎を切るのも、配置を決めるのも全て子ども達が自分で工夫しました。

思い切り良く直感で活けている子、慎重に花の配置を考えている子、あるいは選んだ花瓶の形によって、思うような活け方が出来ずに「むずかしい…」と苦戦する子と様々。最後は自分の作品が分かるようにカードにタイトルと名前を記入し、雛人形の前で記念撮影をしました。作品の数々は事務室前と廊下の本棚の上に飾り、春らしくむつみ荘を彩ってくれています。

## 平成30年度総括



温かい春の訪れが待ち遠しい今日この頃です。園庭の梅や桜の花達も出番を今か今かと待ち遠しく待っている様に見えます。

今年度は17世帯の在所でスタートをしました。年度中に退所した世帯は16世帯あり(予定含む)、半分以上が入れ替わった事となります。それに伴い、児童構成は乳児の増加と学童さんの低年齢化が顕著になりました。幸いにも子ども達はむつみ荘、保育園、小学校の各生活に慣れ、生活のリズムが整って来ております。子ども達ってすごいですね。

職員は入所者さん達が安全・安心に暮らせる環境作りと自立に繋がる支援に奔走した30年度であったと思います。今年は桜が早いようです。

春にはそれぞれ皆さんが新しいステージへ一歩踏み出す事と思います。目標を達成できるように頑張ってください。

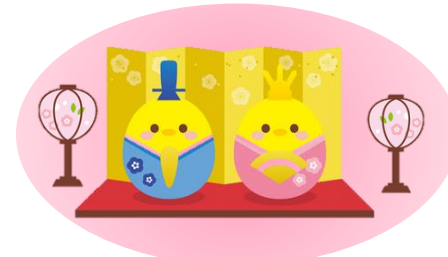
施設長 長田伸一

## ひよこだより



現在、0~4才のお子さんが利用していますが、大きいお兄さん、お姉さんが小さい子のお世話をしあげたり遊んでくれると、小さい子達も嬉しそうにしているととても微笑ましいです。

そんな保育室に最近登場した大きな段ボール箱。入って遊ぶかな？と何気なく置いてみると…、いつも誰かしら入っていて中でまったりしたり、お友達とくっつきながら仲良く遊んだりと何かと使われる万能な箱となりました。大人も入ってみると…なんか落ち着く～！日に日にヨレヨレ感が出てきましたが、もう少しの間楽しめるかな？



## 3月の予定

～子ども会～

- ・桃の節句
- ・卒業・進級を祝う会

～ひよこ～

- ・ひな祭り会食
- ・修了式

～全体～

- ・衛生点検

